

月三十日、
 キュバ島四斗午前中ニ米軍宿营地ノ附近ニ来ル又々
 明日より愈々攻撃ヲ始ムトノ一ニテ午後ヨリ諸隊運動ヲ
 始ム蓋シ明七月一日未明迄ニ尤ノ部署ニ就カニガ爲ナリ
 附団D號参照
 砲兵一中隊Aノ高地ニ於テ「カチ」ニ向テ放列ヲ布キ第
 二師團ノ第三旅團ハ本夜中ニA高地ノ東麓ニ通ズル
 道路ヲ進デ「カチ」ニ近接シオ一旅團A高地ノ西南



明治三十一年七月八日發

(「キュバ島」サンチャゴ附近米第五軍團司令部ニ於テ)
 陸軍砲兵少佐柴五郎弟十五報告
 「サンチャゴ」征戦経過ノ大要

414
 A 792
 9

第一種

陸軍部
 第九五號ノ一ニ

265 / 2-9



麓通之道路ヲ進テ「カチー」ニ近接シカニ旅団ハ其一聯隊ヲ
Aノ砲兵護衛ニ派遣シ他ノ二聯隊ハ本道ヲ「エルボグ」近進シ
又「カチー」右折「マニサキ」家屋ヲ経テ「ゲユクロー」家屋方向ニ進
「カチー」ノ西南ニ至テ敵ノ退路ヲ絶ツ
「キエハ」兵ハ才二師團諸旅隊ノ後方ヨリ跟従スル
東馬騎兵大隊ハA高地ノ背後ニ在ル
他ノ砲兵一中隊ハ「エルボグ」西側ノ高地ニ於テ「サ」ホアニ堡ニ向
テ放洲ヲ布キ騎兵師團ハ「エルボグ」附近ニ閉進シ才一師
團及獨立旅団ハ軍團司令部附近ニ閉進ス
「ダッファイル」上旅団ノ一聯隊ト一大隊以旅団ノ他ノ半部即ケ
「シ」ガニ義勇歩兵才三十四聯隊ノ一大隊及「マサ」左セツトス
義勇歩兵才九聯隊ハ本日到着上陸ニ着手セリハ海軍
ト協力シテ海岸ヨリ「アガト」レスニ向テ佯撃ヲ行フ

敵情ニ就テ去ルニテ七日以來更ラニ新情報ヲ得タヤ否ヤラ
コラス

本日午前ヨリ軽気球ヲ揚ゲタレ氏天氣晴朗ナラザルト
装置不完ナルトテ効用ナカリシ
七月一日、午前六時半「カチー」地方ノ戦始ル才二師團及
A高地ノ砲兵相恨カシテ敵ヲ漸次「カチー」ニ壓迫シ西兵ハ
B堡ニ拠テ死守敵戦ニ激戦數時間ノ後午後三時未ノ
才三旅團B堡ニ突貫シテ之ヲ陥レタリ然レ氏敵ノ残兵尚ホ
「カチー」村及周圍ノ各所ニ拠テ頑強ノ抵抗ヲナシ四時過ぎ
至テ敵ニ比肩ナ敷キ攘セラレタリ以テ方面ノ敵ハ砲兵ヲ有セザリ
シ、後才B堡ニ捕トナリ西將校ノ直話ニ依レハ談所
ヲ守備セ西兵ハ約四百名斗ナリナリ死傷ハ約半
數ナルト云フ

以日軍團司令官ノ最後ノ預備兵ヲ以テ獨立隊團ハ十一時過ギ頃
ヨリ「カチ」地方ニ増援セラレルニ戦闘ニ甚カラザリシガ如ク
但シ精確ノ「ハ」未ダ聞クヲ得ズ

大翼「正」ボツノ砲兵モ七時三十分過「サ」ホアニ堡ニ向テ放火
ヲ始メ敵砲兵モ該堡ノ後方ヨリ緩慢ニ吾射ス其數三四門
斗リナリ敵砲兵ハ無烟火藥ヲ用ヘ未砲兵ハ有烟火藥ナリ
彼以テ其砲數甚ク僅少隨テ突射緩慢ニシテ以テ砲戰ハ
甚ク壯觀ナラザリシ九時頃ヨリ騎兵師團及第一師團ハ
「エ」ルボツヨリ本道ヲ兩側ノ密林ニ掩蔽セラレテ續々前
進シ十一時過キヨリ漸次「サ」ホアニ堡ノ敵線ニ迫リ騎
兵師團ハ本道ノ右ニ第一師團ハ其左ニ展開シ戰ハズ
敵ノ歩砲兵ヲ犯シテ「サ」ホアニ堡及其北方ニ且ル敵陣
地ニ逼迫シ遂ニ大損傷ヲ被リナガラ高地下ノ閑濶地ヲ

奮進シ一時三十分頃高地ノ傾斜ヲ肉薄シテ半ハ攀登セル頃
西兵ハ其守地ヲ棄テ退テ更テ後方ノ第一陣地ニ就ク以テ於
テ「サ」ホアニ堡全ク米兵ノ手ニ落テ午後四時頃近ク向
ニ該堡左右ノ高地線ハ米ノ騎兵師團及第一師團ノ
占領スル所トナリ然レニ敵ハ再ビ堅固ニ第一陣地ニ據リ盛ニ
抗戦シ屈スル色ナシ火戰ハ如此ニシテ時々盛衰斷續テ
レニ終日継続セラレ暗黒ニ至テ始メテ止ム然レニ兩軍共ニ
嚴然整塲ニ據テ終夜對峙ス
海岸「ア」カドレシニ於ケル「ダ」ッ「フ」イルト「格」別ノ戰ヲナシ
不僅カニサ許ノ火戰ヲナシタレノニシテ「ミ」ボ「ニ」ニ「ヨ」リ「来」ル
米海軍ヨリモ朝来「サ」シ「ヤ」シ市街ニ遠巨砲射撃ヲナシ
勢ヲ援ス又夕港内ニアル西軍艦ヨリモ市街ノ上ヲ超シテ米ノ
陸兵ヲ射撃ス

又々西ノ遊撃手兵六軍團司令部及「サンホア」間ノ叢教中
潜伏シテ絶へず狙撃シ終宵止まず其勇敢賞スルニ足ル本日本
兵ノ此傷ハ未だ確數ヲ得ザレバ千六百斗リト云フ西兵ノ損
傷元ヨリ未詳ナレバ「カチ」地方ヲ除ク外ハ米兵ニ比シ
損害遙カニ少ナルベシ「サンホア」僅ニ西兵ノ此屍二十八ヲ遺
セルヲ見ル

本日ノ戦用本來自的ハ一ノ攻撃偵察ニアリシカ又々本攻
撃手ニ在リシカ果シテ本攻撃ナレバ其目標又方向等ハ何レニ
在リシカ等ハ外國將校ハ当日一切之ヲ聞知スルヲ得ザルニ
アラズ此報告記載ノ今日ニ於テモ尚ホ知ルヲ得ザルナリ然レ
氏諸種ノ状報等ニ依テ察スルニ先ヅ右翼「カネ」ノ敵ヲ
撃攘スルト同時ニ左翼ニ在テ砲撃ノミヲ行ヒ吾ニ尚必要
ナハズ許ノ歩兵ヲモ用ヒテ敵陣地配備ノ偵察ヲ行フ

位ヲ止メ主力ハ之ヲ「カネ」方向ヨリ進メテ本日本中
敵ノ左翼ニ接近シ明日黎明ヲ待テ此方向ヨリ本攻
撃ヲ行ヒ同時ニ「サンホア」ノ正面ヨリモ補助牽制
攻撃ヲナスノ計画ナリシカ如シ故ハ本日實地「サン
ホア」ニ於テ不必要ニ多數ノ死傷ヲ生シタル無謀無
理ノ歩兵攻撃ハ果シテ司令官ノ本意ナリシヤ否ヤヲ
疑フ恐クハ何カノ誤謬ヨリレテ遂ニ驕虎ノ勢復タ止ム
可ラサルニ至リタルナラン乎ト臆測ス元來「ダイキユリ」及
「シボニー」附近ニ上陸シタル米軍ノ為メ謀ルニ海軍ニ
依テ完全ニ掩護セラレ且ツ鐵道ノ交通アル「アガトレス」
ノ鐵橋ノ一端少シク西兵ノ為メ破壊セラレタルノミニテ
其他ハ完全ナリ海岸ノ道路ヨリ主力ヲ進メ海軍ト
協力シテ先ツ港口ノ「モロー」砲臺ヲ陥レテ港口ヲ奪

海軍ヲ港内ニ進入セシメ然ル後水陸相并テヤゴ
ヤゴヲ攻撃スルヲ上策トスルモノ、如シ然ルニ米軍ノ
先頭ハ先日米少数ノ敵ニ誘惑セラレテ無我無中ニ
「セウイラ」谷底ノ叢藪中ニ踏ミ込ミ終ニ全軍ヲモ此
集團スルニ至レリ然レモ尚ホ此地ヨリ海軍ト相協力シテ
「モロー」ニ向テ難カラサリシニ策終ニ此ニ出テス陸軍ノ
獨カヲ以テ「サン」ヤゴノ背後ヨリ之ヲ陥レント企テ
タリ而レテ既ニ斯ク決心セル以上ハ前述ノ如ク主カヲカ
ネー」方向ヨリ高地ニ沿テ進ムルヲ最良ノ實行法
トス司令官ノ意圖モ果シテ此ニアリシヤ否ハ知ラサレモ
實際ニ於テハ「サン」ホア「モロー」ニ向テ最モ不利ノ地ヨリ無理
ノ攻撃ヲ強行シテ無益ニ大損害ヲ生シタリ是レ悲ク
作戰諸機關不備ニシテ命令報告其他諸通信ノ

傳達多クハ時機ヲ失セルト又一ハ諸團隊長多クハ戰
術ノ思想ニ乏シク各自ノ任務ヲ全局ノ目的ニ向テ適當ニ
實施推行スルノ能ク遂ニ個々任意ノ運動ヲ為シタル
ナラン要スルニ米將校ノ多クハ小部隊ヲ指揮スル下級
將校トシテハ固然ニ所ナキモ大部隊ヲ指揮官若
クハ高等司令部員トシテハ餘リ感服出来難キモノ、
如シ但シ將校以下概シテ体力強健能ク艱苦ニ堪ヘ志
氣活潑且ツ沈着勇敢危ニ臨テ平然動カサルハ頗ル
稱賛ニ値ス又將校下士卒共敵ノ負傷者捕虜等ニ
對シ慈仁親切ニシテ且ツ義侠心ヲ有スルハ感心ニ餘アリ
又西兵モ本日本ノ行為ヲ以テ推セハ決シテ怯懦ナルモノニ
アラサルノミナラス却テ頗ル勇膽不屈ノ氣力アランモノ、
如シ

七月二日 黎明米線ノ右翼ニ於テ端ナク發火ヲ始メ西
軍モ之ニ答射シ忽ケ全線ニ波及レ西軍共ニ終日塹壕ニ
掘テ一歩モ進退スルナク此無益ノ火戦ハ何ノ目的モナク
日没マテ續ケラレタリ但シ西軍ハ米軍ノ濫射ヲ馬鹿
ニシテカ或ハ彈藥ヲ惜ミテカハ知ラサレ氏餘リ取り合ハス米
人ノ塹壕外ニ頭ルヲ見テ之ヲ狙撃スルノミ
昨日「カネー」地方ニ於テ戦ヒタル第二師團ハ當日ノ夕方
ヨリ「サンチヤゴ」ニ向テ進ミ薄暮石橋ノ附近ニ達シタル
頃或ル誤謬ヨリ「エルポゾ」及軍團司令所方向ニ向テ背
進ヲ始メ全師團「カネー」及「エルポゾ」尙ノ數ノ中ニ余
事モナサス（當日前進中装具ノミニナラス糧食ヲ納レタル
雜囊迄モ途中ニ遺棄セリ此事ハ特リ此師團ノミニナラス
諸隊普通ニシテ戦後二三日ノ後ニアラサレハ悉ク再ヒ収集

セラレサリシ）ニ終夜彷徨シ本朝七時半頃ニ至リテ漸ク
「エルポゾ」附近ニ到來シ更ニ「サンホアン」ニ向テ本道ヲ進
ミ十二時頃騎兵師團ノ右翼ニ就キタリ此時マテ西軍
戦線ノ最左翼ハ騎兵師團ノ右翼ニ對スルマテ止リシカ
米第二師團ノ到着ヲ見テ俄カニ其線ヲ左翼ニ伸ハシタリ
故ニ若シ第二師團ニシテ昨夜中ニ騎兵師團ノ右翼後ニ
到達シ本朝未明ニ西ノ左翼ヲ包攻セシヤラハ勝利ヲ得
或ハ直チニ「サンチヤゴ」ニ侵入シ得タルヤモ未タ知ル可
可惜哉
第二師團ニ續キ獨立旅團モ「サンホアン」ニ進ミ午後一
時頃ヨリ第一師團ノ左方ノ陣地ニ就キ終日敵ト塹壕
ヲ對シテ火戦ヲナセリ
本日ハ西軍ノ砲兵共ニ發射セス只海軍ヨリハ時々射彈

ラ、サンチヤゴ市に落下シタリ
夜十時頃俄カニ猛烈ナル火戦始マリ砲兵マテモ暗射ヲ為
シテ戦ニ與リ三十分間ニシテ止ム曰ク西兵出撃ヲ試ミタル
ヲ以テ之ヲ撃テ退シタルナリト但シ其實際ハ本朝ノ火戦
開始ト同シク米兵ノ夢中瞞眼ニ何物カヲ見テ發射シ
タルカ原因トナリ斯ク全線ニ恐慌ヲ來シタルナリト知ラ
レタリ

七月三日 本日モ早朝ヨリ對壘壕ノ無目的ノ火戦始マリ
但シ一面ニハ米兵モ大、疲勞シタルト一面ニハ稍、実験ヲ
積テ沈着トナレルニテ前日來ノ如キ濫射少キニ至レリ
午前九時頃米軍司令官ハ西軍司令官ニ向テ四十八時
間内、降参セサレハ市街砲撃ヲ始ムヘシト宣言シ且ツ
市内ニ在ル外國人及婦女老幼ニ退去ヲ諭達セラレタリト

云ヒ送り同時ヨリ全線ノ火戦ハ全クナリ止セラレタリ傳へ
聞ク市内ニ在ル外國領事米西司令官ノ向ニ周旋シテ
更ニ六日ノ午前十時迄西軍ノ方ヨリ挑戦セサル限リハ米軍
ヨリ攻撃セサルノ協議整ヒタリト云フ之カ為メ西軍ノ戦
線處々ニ白旗ヲ揚クレヒ米軍ノ戦線ニハ国旗ノミヲ
米軍戦鬪線部署ノ様ヲ見ルニ一翼ヨリ一翼迄約七八千
米ノ長距離ニ全軍ヲ平等一線ニ配布シ其後方ニハ師團
旅團共何ノ豫備隊ヲモ有セス故ニ其一點ノ兵力ヲ論スレハ
到ル處皆ナリ平等ニ甚々薄弱ナラサレハ又其壘壕ノ
横断面ノミハ過度ト見ユルマテ堅固ナレハ其經始不規
ニシテ相互ノ側防等ニ注意セス又砲兵ノ配置拙ニシテ
其一半ハ步兵近距離火戦ニ參與シ能ハサル位置ニアリ
故ニ若シ西軍ニシテ其主力ヲ集團シ機ヲ見テ米線ノ中

尖ヲ突キ破ルカ或ハ其一翼端ヲ廻包逆撃シシタランニハ帯
ノ如ク細ク長ク延伸セル米軍ハ彼此相救フニ違ナク大紛
難ニ陥リタルナラン然レモ西軍終ニ之ヲ敢行スルノ勇断
ナク輒ク米人勸降ノ辞ニ耳ヲ傾クルニ至ル可惜ノ至
ナリ

豫テ「サンチヤゴ」港ニ潜據繫泊シ米軍征戦ノ目的ト
ナリタル西ノ「セレウエラ」艦隊ノ「インフアンタ」マリヤ、テレ
サレ、「ウイスカヤ」、「クリストバル」コロン、及「アドミラル」オケ
ンド」ノ四巡洋艦及「プラトン」并「ヒュロール」ノ二水雷砲
艦ハ「セレウエラ」氏自ラ之ヲ率ヒ午前九時三十分頃ヨリ
「サンチヤゴ」港ロラ出テ封鎖ヲ冒レテ脱セン「フ」試タレ氏
忽チ優勢ナル米艦隊ノ掩撃スル所トナリ水雷砲艦ノ
如キ僅々十数分間ニシテ二隻共撃沈メラレ「クリストバル」

コロン「ラ」除ク外ノ三巡洋艦モ或ハ敵ノ射弾ノ為メ或ハ自
己ノ水雷破裂ノ為メニテ大損傷ヲ生シ何レモ火災起リ
港口ノ西方約二三十海里ノ處ノ濱岸ニ棄リ揚ケ焼キ
沈没シタリ艦隊ノ最尾ニアリレ「クリストバル」コロン「ラ」
流石ニ全部装甲ナル丈ケアリテ火災起ラスレテ六十餘
海里ヲ脱ケ延ヒタレモ終ニ優勢ノ敵艦隊ニ追逼セラレ
最後ノ決戦モ試ミスレテ捕獲セラレ同時ニ艦底ノ水門
ヲ閉テ沈没シタリ但シ艦体ニハ何ノ損傷ナレト云フ艦隊
司令官「セレウエラ」氏以下濱岸或ハ波間ニ救ハレテ米
艦ニ擣トナルモノ千三百餘人其死傷ハ未明ナレモ蓋シ數
少ナラサルヘシ米艦隊ニハ一モ重大ノ損傷ヲ受ケス人負
ノ損傷モ僅カニ死者一名傷者三名ノニ戦鬪間一西艦
素ヨリ必死猛烈ニ發射シタルニ相違ナキモ其實際ノ

効力ニ至テハ前述ノ如シ西海軍射撃ノ未熟ナルヲ證スルモノト謂フ可シ

七月四日 終日休戦西軍共ニ胸墻ヲ深高ニシ又多少ノ位置ヲ變換セルノ外ハ何事モ無し

サンチヤゴノ市民老幼提携負擔シテ市外ニ脱出スルモノ萬餘其慘狀可憐但し米軍宿營地附近ニハ止ルヲ許サズ遠ク後方或ハ側方ニ去ラレタ米軍及米團人ヨリ成ル赤十字社ハ「カネー」ニ救恤所ヲ設ケ彼等ニ食物藥品等ヲ給ス

七月五日 終日休戦昨日ニ同シ但し米軍カ豫備トシテ持テ采ルニ三吋ノ二口徑ノ小綫白砲四門(總數八門ヲ有ス)ヲ騎兵師團ノ右方ニ布置ス

市民續々市外ニ脱出スルノ昨日ニ同シ

9

七月六日 本日午前十時ニテ休戦期盡キタレバ西軍降服ノイナク又開戦モセス向ク所ニ扱ハ昨日頃ヨリ更ニ捕虜交換ノ談判始マリ之カ為メ休戦ノ姿ハ依然續ケテレタルナリト云フ

先キ運送船「メリマツク」號ヲ「サンチヤゴ」港口ニ齎ラシ沈メテ西艦隊ノ去路ヲ塞キ同時ニ西軍ニ捕ハレクル米ノ海軍大技士「ホブソン」以下數名西ノ捕虜ト交換セラレテ歸リ來ル米軍樂ヲ奏シ喊聲ヲ作シテ彼等ニ戦線ニ歡迎ス

七月七日 終日休戦何事モ無し

七月八日 終日休戦何事モ無し

米軍カ如此休戦々々ト逡巡遲滞セル理由ヲ察スルニ一面ニハ既ニ西艦隊ヲ沈滅シテ征戦ノ本目的ヲ達シタレハ今

後ハ可成兵力ノ損傷ヲ避ケ西軍ヲ降ラシメント希望
シ敵ノ食盡キ氣屈スルノ期ヲ待タント欲セルト又他ノ一
面ニ於テハ七月一日以來ノ戰鬥ニ於テ豫想外ノ頑強ナ
ル抗抵ニ遭ヒ更ニ兵力ヲ以テ敵ヲ壓服センニハ尙ホ一層
ノ大損傷ヲ豫期セサル可ラサルニナラス而カモ尙ホ現在
ノ米軍ノ兵力ニテハ奏効或ハ覺束ナキヲ感シ數日前
既ニ増援兵ノ派遣ヲ本政府ニ請求シ之カ為メ歩兵
三聯隊ト各六門ノ砲兵中隊六個近日來着ノ苦ナレハ
其レ迄ハ何角ト休戦ニ事ヲ托シ時日ヲ遷延セント欲
セルモノト察ス此間西軍司令官ニ於テ妄リニ敵ノ勸
降ノ辞ニ誘惑セラレ或ハ單ニ專守防禦ヲナストナシク
其全軍ヲ以テ決意攻勢防禦ヲナシタランニハ或ハ全
勝ハ期シ難キ米軍ニ幾分ノ混雜ヲ與ヘ得ルトト確

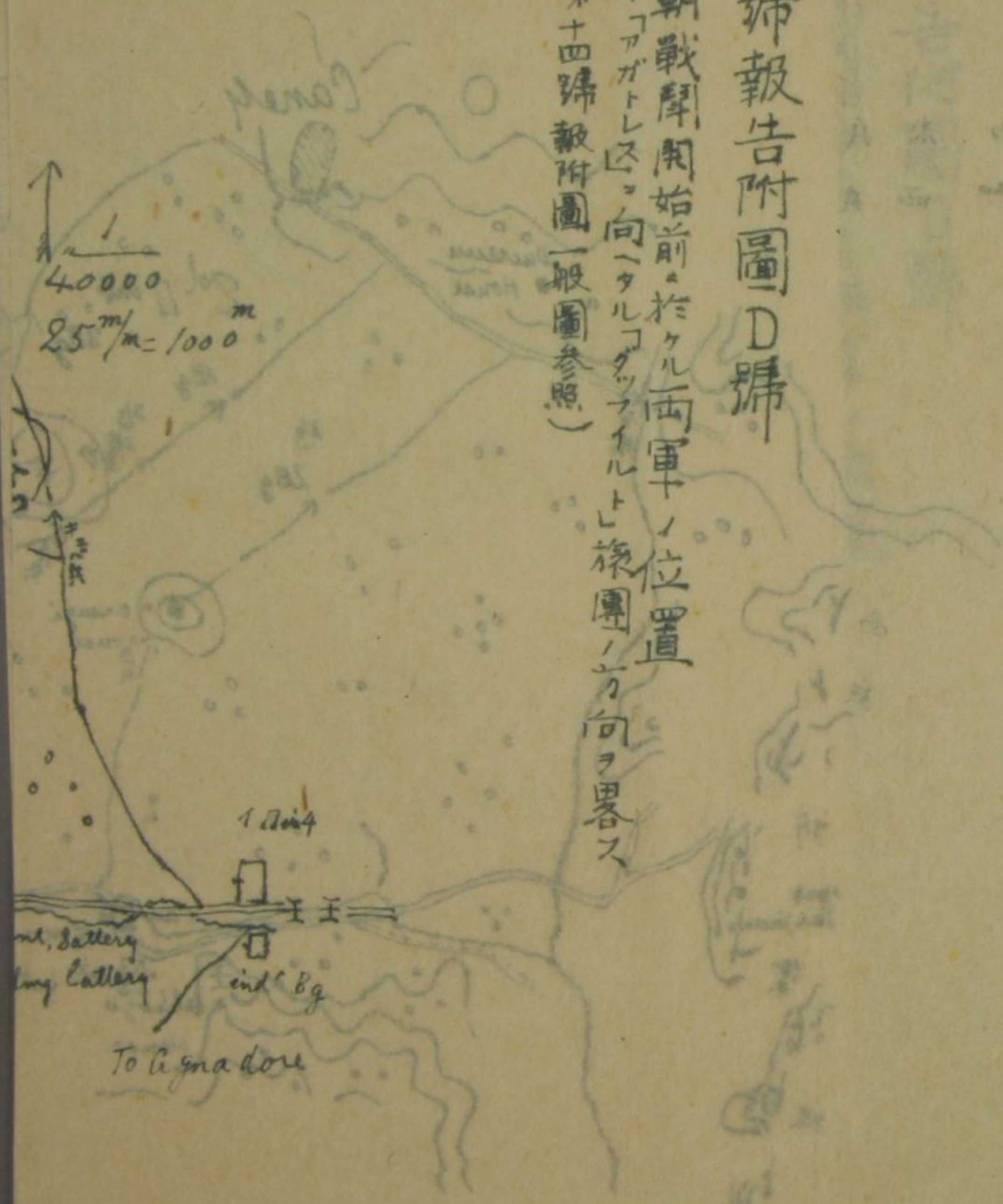
信ス然ルニ西軍終始專守防禦ノミヲ為シ寸分ノ攻勢
動作ヲナサザリシハ甚タ惜ム所ナリ概シテ西軍モ米軍ト
同シク敏捷活動ノ性ニ乏レキモノ、如シ

追記當地ノ氣候ハ殆ント台灣ニ同レ日中ハ華氏寒暑
計ニテ百三四十度ナリ然レ一日ノ内三四時向ハ雷鳴ト共
ニ益リ覆ス如キ大雨アリ夜間曉方ニ近キ頃ヨリ冷氣
膚ヲ冒シ寒冷眠ル能ハス人家ハ「ダイキユリ」「シボニー」
「カネー」ニ外ハ只「ノ一軒」モ無し又右三ヶ所ノ家屋モ
「シボニー」ノ分ハ悉ク焼拂ヘリ
米軍中熱病下痢等ノ諸病漸ク多キヲ加フ但レ黃
熱患者ハ未タ百名内外ナリ

末一言ス小官ハ上陸以來全ク露天ニ起卧スレモ少
 シモ故障ナク至テ健全ナリ幸ニ御故念ヲ乞フ米軍
 團司令部ニテ最初ノ約束ニ反シ外國將校ニ天幕
 ヲ給セス但食物ト乗馬ヲ給スルニ而シテ彼等自ラハ
 皆テ天幕内ニ在テ假寝台迄ヲ有スルナリ米軍ノ外
 國將校ヲ待スル如此外國將校中三名ノ之堪ヘスレテ
 既ニ華盛頓・歸リ去レリ (終)

米第一五號報告附圖D號

七月七日朝戰開始前ニ於ケル西軍ノ位置
 但シ海岸「マガト」区ニ向ヘタル「ダウ」イルト「後團」ノ方向ヲ畧ス
 (第十四號報告附圖一般圖参照)



米第一五號報告附圖D號

米第一五號報告附圖D號

七月七日朝戰聲開始前於ケル西軍ノ位置
 但シ海岸「アガトレ」区「向」タル「ダグ」フィルト「後」團ノ「方」向ヲ「畧」ス
 (第十四號報告附圖一般圖参照)

白米兵
 十西兵



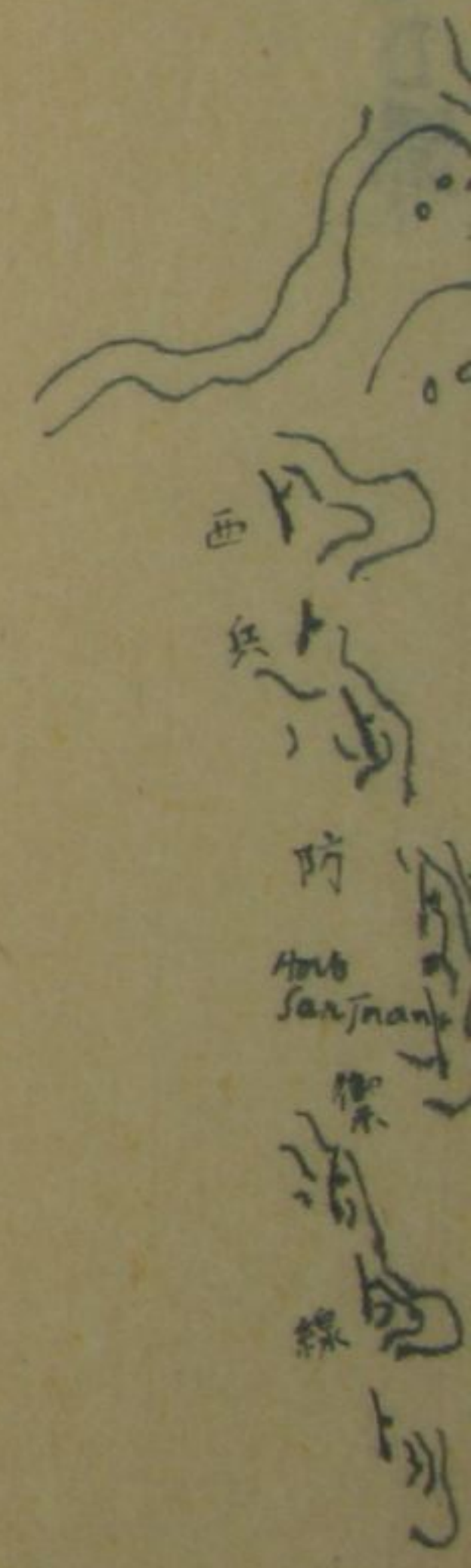
米第一五號報告附圖D號

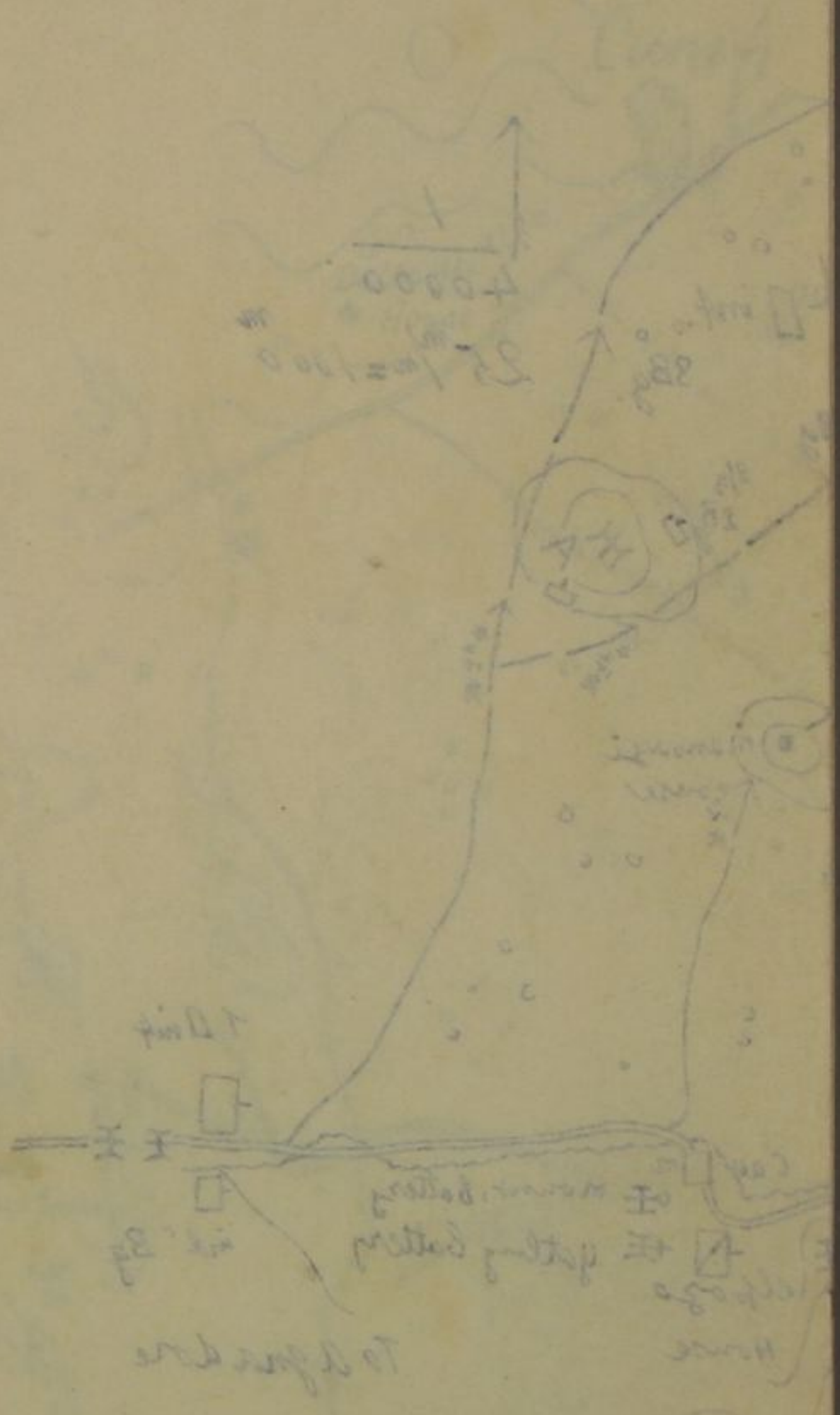
七月七日朝戰開始前ニ於ケル西軍ノ位置
 但シ海岸「アガレス」ニ向「タル」ダ「ファイル」ト「椽」團ノ方向ヲ畧ス
 (第十四號報告附圖一般圖参照)



□ 米兵
 一 西兵
 標 標

□ 米兵
 一 西兵





(是十四日繪成地圖一紙圖未詳)

四月十五日繪成地圖一紙圖未詳

本島一五縣地圖一紙圖未詳